

天吊カセット形スタンダードタイプ

形名	〈単相100V〉				〈単相200V〉			
	LGH-15CSs	LGH-35CSs	LGH-15CSsD	LGH-35CSsD	LGH-15CSsD	LGH-35CSsD	LGH-15CSsD	LGH-35CSsD
	LGH-25CSs	LGH-50CSs	LGH-25CSsD	LGH-50CSsD	LGH-25CSsD	LGH-50CSsD	LGH-25CSsD	LGH-50CSsD

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店で実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。お客さまご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません）

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。据付工事が終わりましたらこの説明書とともに、お客さまに必ずお渡しください。

■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

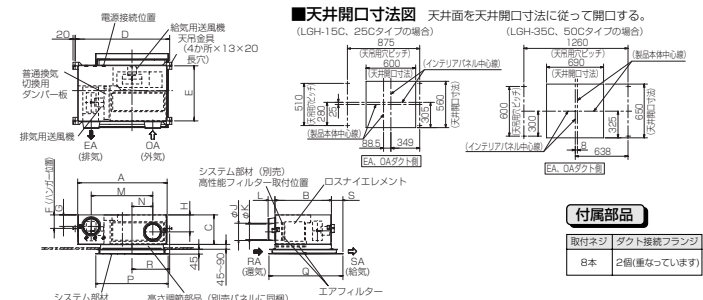
警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
分解禁止	改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因。	本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因。
浴室取付禁止	浴室など湿気の多い場所には、本体・コントロールスイッチとも据付けない 感電および故障の原因。	端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災の原因。
アース接続	単相200V製品はアースを確実に取付ける アースを取付けないで故障や漏電のときに感電の原因。	電気工事は、電気工士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、据付工事説明書に従って取付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する 電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因。
指示に従う	定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電源で使用する、火災や感電の原因。 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない。積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ 新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因。 電気工事の際は必ず分電盤のブレーカーを切る 感電やけがの原因。	漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合火災の原因。 金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける （電気設備の技術基準 解釈 第167条3項） 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因。

注意		誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの
禁止	高温（40℃以上）や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因。 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有毒ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない 故障の原因。 塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因。	コントロールカバーは施工後、必ず閉める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因。 据付け後長期間ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因。 吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する 指定以外のものを使用すると、落下の原因。 据付けの際は手袋を着用する 着用しないことが原因。
指示に従う	本体より室外側のダクトは室外に向かって下りこ配（1/30以上）になるように据付け、断熱処理を確実に行う 雨水の浸入により漏電・火災や家財の損傷の原因。	

お願い

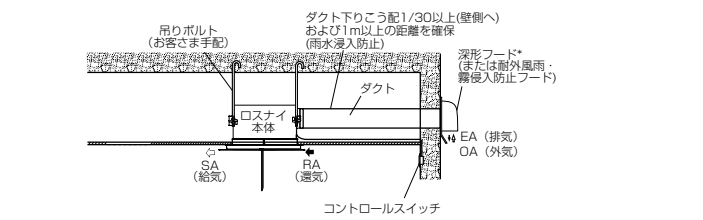
- 高温多湿条件（30℃以上とき、相対湿度80%以上）や霧の多発地帯で長時間使用すると、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下では使用できませんので、耐湿形ロスナイをご使用ください。または霧の多発地帯では別売システム部材 霧侵入防止用回路を設置してください。
- 天井材は共鳴しない材質をご使用ください。
- 製品を運転しない場合でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内に侵入するおそれがあります。
- 電動ダンパーの併用をお勧めします。
- 寒冷地や外風の強い場所や室内外圧力差がある場所、並びに霧の発生し易い場所では運転停止時に、冷氣・外風・霧・高温高湿空気が侵入することがあります。電動ダンパーの併用をお勧めします。
- 寒冷地域などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏温度条件によって、本体表面およびダクト接続部他が結露、結氷するおそれがあります。このような条件下で使用される場合は断熱材重ね貼りの追加工事を実施してください。別売の「寒冷地設置用断熱材」（受注対応品）を準備しています。
（寒冷地設置用断熱材の各種サイズへの裁断および商品への貼り付けはお客様にて実施となります）
※結露条件例 外気：-5℃以下、設置場所露点温度：10℃以上（天井裏温度22℃以上で相対湿度50%以上のときなど）
- 選んで困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の温湿度条件により製品から露が落ちる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。（標準据付例の雨水浸入防止をご参照ください）
- 給気、排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 給気側屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合には、別売の虫侵入対策部品（受注対応品）を取付けることをおすすめします。（室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります）
- 室外側のOA（外気）ダクトに過大な圧力損失がかかるとRA（還気）側からSA（給気）側への空気漏れが増加する傾向があります。OA側に過大な圧力損失がからないように施工してください。
- 火災警報器は結露ダクトより感知部を1.5m以上離れたところに取付けてください。
- スプリングヘッドをインテリアパネルから30cm以上離れたところに取付けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異音発生の原因になります）
 - 曲角な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続フランジのすくさばでの曲げ
 - ダクト径を縮小しすぎる

外形寸法図

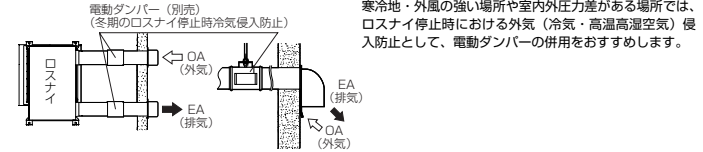


（別売） 45～90mmの調整が可能																									単位 (mm)			
形 名	外形						天井金具ピッチ					ダクト接続フランジ					ダクトピッチ					インテリアパネル					質量 (kg) (本体のみ)	インテリアパネル 形名
	A	B	C	D	E	F	厚さ	G	H	J	K	L	M	N	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z			
LGH-15Cタイプ	837	523	273	875	510	125	φ100	107	157	110	97.5	54	570	193	670	685	349	106	18							PZ-125SP3・SP4		
LGH-25Cタイプ	837	523	273	875	510	125	φ150	107	157	160	142	64	570	193	670	685	349	106	18									
LGH-35Cタイプ	1213	613	335	1260	600	180	φ150	160	185	160	142	64	730	278	770	770	638	79	32							PZ-350SP3・SP4		
LGH-50Cタイプ	1213	613	335	1260	600	180	φ200	160	185	208	192	79	730	278	770	770	638	79	33									

標準据付例

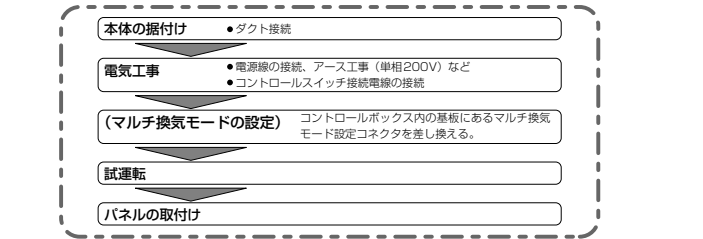


■電動ダンパー（寒冷地・冬期のロスナイ）

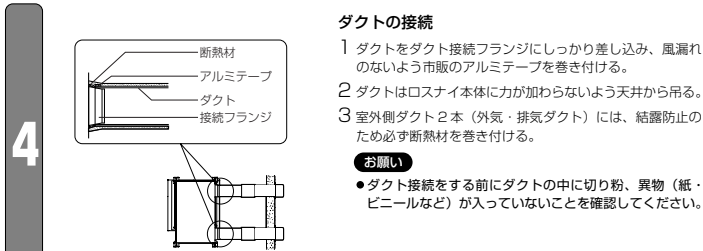
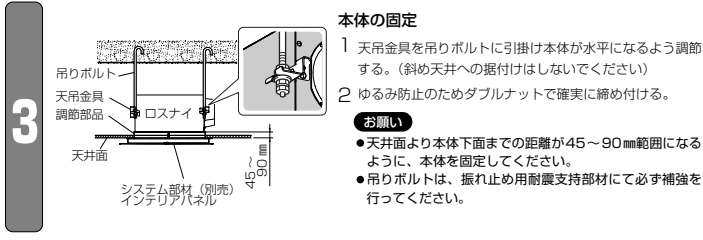
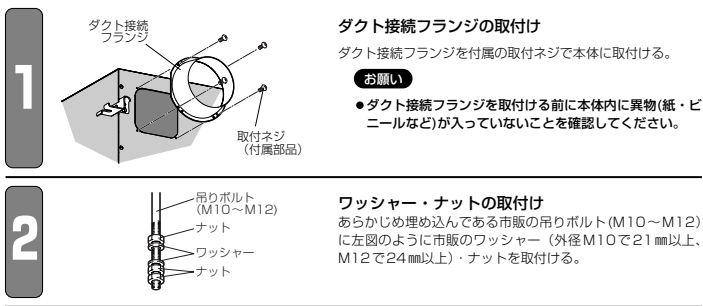


本体の据付け

■据付工事の流れ



●システム部材（別売） インテリアパネル（天吊カセット専用）の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

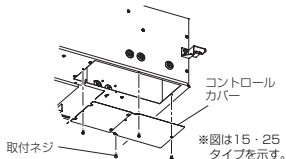


電気工事

警告

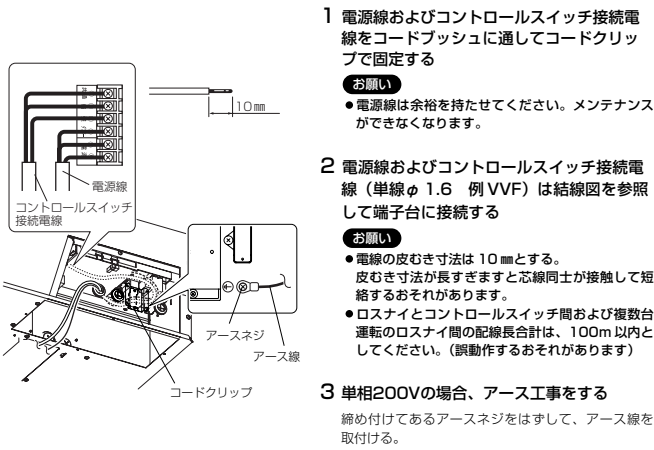
- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する
間違った電源を使用すると、火災や感電の原因。
- 電気工事は、電気工事士の資格のあるかたが「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および、**据付工事説明書に従って据付けし、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する**電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因。
- 端子台接続部は指定の電線を使用して、抜けないよう確実に接続する
接続に不備があると火災の原因。

1



ネジ4本をはずして、コントロールカバーをはずす

2



1 電源線およびコントロールスイッチ接続電線をコードブッシュを通してコードクリップで固定する

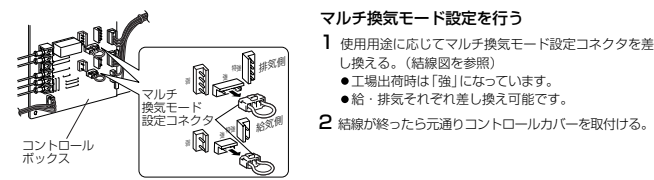
- 電源線は余裕を持たせてください。メンテナンスができなくなります。

2 電源線およびコントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例 VVF)は結線図を参照して端子台に接続する

- 電線の皮むき寸法は10mmとする。
皮むき寸法が長すぎると芯線同士が接触して短絡するおそれがあります。
- ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)

3 単相200Vの場合、アース工事をする
締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

3

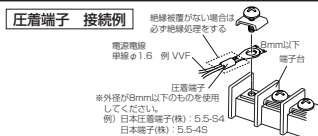


マルチ換気モード設定を行う

- 1 使用用途に応じてマルチ換気モード設定コネクタを差し換える。(結線図を参照)
 - 工場出荷時は「強」になっています。
 - 給・排気それぞれ差し換え可能です。
- 2 結線が終わったら元通りコントロールカバーを取付ける。

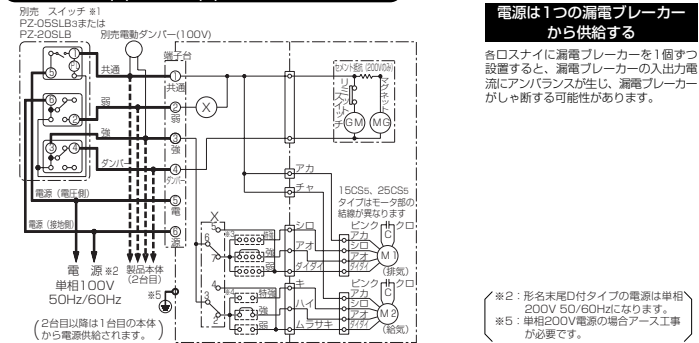
注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する。
使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

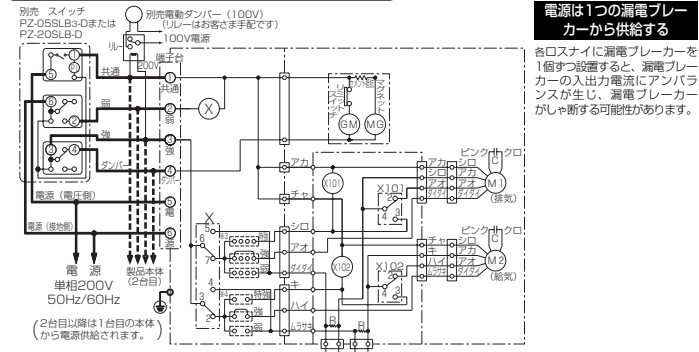


結線図 ※太線および破線部分を結線します。 漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

LGH-15CS_s(D)・25CS_s(D)・35CS_s・50CS_sの場合



LGH-35CS_sD・50CS_sDの場合



共通注意事項

- ※1: 単相200V機種の場合、別売スイッチはPZ-05SLB₃-DまたはPZ-20SLB-Dを使用してください。
- ※2: 形名末尾D付タイプの電源は単相200V 50/60Hzになります。
- ※3: 排気側マルチ換気モード設定コネクタ(工場出荷時は強になっています)
- ※4: 給気側マルチ換気モード設定コネクタ(工場出荷時は強になっています)
- (※3、※4 マルチ換気モード設定時にそれぞれ差し換えしてください)
- ※5: 単相200V電源の場合アース工事が必要です。
- 設定コネクタ差し換え時には必ず電源を落としてください。
- ④ダンパーは本体内の「ロスナイ換気/普通換気」切換ダンパーです。
- 本体設定コネクタにより、下表換気モードの選択が可能です。

コントロールスイッチ		強				弱
設定コネクタ	給気側	給気側	強(特強)	強(特強)	弱	弱
設定コネクタ	排気側	排気側	強(特強)	強(特強)	弱	弱
換気モード	パワー給気	パワー排気	パワー給気	パワー排気	省エネ換気	省エネ換気

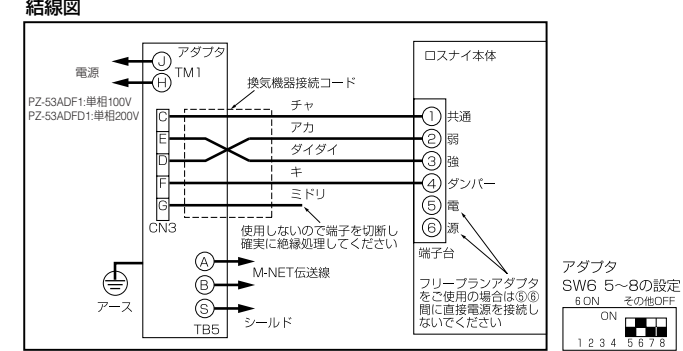
複数台運転可能台数

単相100V	形 名	台数	単相200V	形 名	台数
PZ-05SLB ₃ またはPZ-20SLB 1台で右表の同一機種複数台運転ができます。	LGH-15CS _s	10	PZ-05SLB ₃ -DまたはPZ-20SLB-D 1台で右表の同一機種複数台運転ができます。	LGH-15CS _s D	10
	LGH-25CS _s	6		LGH-25CS _s D	6
	LGH-35CS _s	4		LGH-35CS _s D	4
	LGH-50CS _s	3		LGH-50CS _s D	3

メモ ●異機種組合せ複数台運転については、カタログ・仕様書を参照ください。

システム部材(別売)フリープランアダプタ(PZ-53ADF(D))使用の場合

製品に直接取付けることはできません。吊りボルト等に取付けてください。
詳しくはフリープランアダプタの説明書をご覧ください。



据付工事後の確認

本体の据付工事が終わりましたら、下表にしたがってもう一度点検してください。不具合がありましたら必ず直してください。

□の中にチェックを入れる。	
(1) 製品据付チェック	
□室外側ダクト2本には断熱材を巻き付けてありますか?	【本体の据付け④ 参照】
□室外側ダクトは壁側に向かって1/30以上の下りこう配を確保していますか?	【標準据付例 参照】
□室外側ダクトは1m以上の距離を確保していますか?	【標準据付例 参照】
(2) 電気工事チェック	
□電源と本体形名、コントロールスイッチの組合せは正しいですか?	【試運転 組合せ表】
□接続電線は結線図通り結線されていますか?	【結線図、試運転 参照】
□接続電線の端子台への接続は確実ですか?	【電気工事② 参照】
□接続電線の固定は確実ですか?	
□基板上的コネクタのはずれはありませんか?	
□(200V機種の場合) アース線の接続は確実ですか?	【電気工事② 参照】
(3) 機能設定チェック	
□マルチ換気モード設定コネクタの接続は正しいですか?	【電気工事③ 参照】

試運転

本体の据付工事が終わりましたら、天井板を張る前に結線が間違っていないか確認して試運転を行う。

組合せ表		
電 源	本 体 形 名	コントロールスイッチ形名
単相 100V	LGH-15~50CS _s	PZ-05SLB ₃ またはPZ-20SLB
単相 200V	LGH-15~50CS _s D	PZ-05SLB ₃ -DまたはPZ-20SLB-D

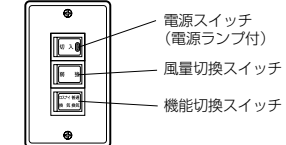
■ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されると、回路が破損します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

項 目	手 順
① コントロールスイッチ	電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」・機能切換スイッチを「普通換気」にする。
② 抵抗の測定(ロスナイ本体)	ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て抵抗を測定する。 ほぼ0Ωが出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

元電源を入り次の確認を行う。

システム部材(別売)コントロールスイッチ



注意

試運転中に羽根の中に指や物を入れない
けがの原因

- 1 電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」切り換えたとき、ロスナイの給・排気風が強・弱に切り換わるが確認する。
 - 2 機能切換スイッチを「普通換気」・「ロスナイ換気」に切り換えたときロスナイ本体内のダンパーが切り換わるが確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の説明書をご覧ください。

パネルの取付け

システム部材(別売)インテリアパネルの据付工事説明書に従って取付ける。